

何とかありませんか、アベマリア。

トランプによれば ノーベル平和賞の推薦を、安倍首相がしたというニュースがありました。もちろんトランプは、自分の成果を表に出して、自慢したいのでしょうが、この話は、メキシコとの国境に壁を作るためのお金がなく、非常事態宣言までして、その実現に躍起になっている彼の立場が丸見えです。こうした理解に苦しむ行動に対する国民の目をそらすための自作自演の芝居だと思っていましたし、いくらなんでも、一国の首相がそんなことをする筈がないと思い、なぜ安倍首相がこんな行動をとったのか、理解にできないと思っていました。国会答弁でも、雄弁ではなく、言葉の意味も吟味せずに、何所からかひっばって来たような、美辞麗句ばかりを並べて、全くその質の悪さにうんざりするばかりでした。ですから、このようなことは、多分、トランプに要請されてしたことではないかと思っていた矢先、アメリカでトランプが安倍さんに、推薦状を書くように依頼した旨とのニュースが入りました。全く、トランプも安倍さんも、やること、なすこと全てが茶番、その人間性を疑われるようなことばかりですね。こんな人が日本の首相であることに恥ずかしさを感じます。

トランプのこれまでの奇妙としか思われぬ行動、なにを考えているのか、全く理解できないことばかりでした。トランプの奇想天外というか、見栄ばかりと求める施策、・・・・。

シリアやアフガニスタンからの米兵の撤退、
メキシコとの国境に壁を作る話
銃規制の反対
中東への武器輸出、サウジへのミサイル売却
日本・韓国への武器購入の強要

こうした一連の決断の裏にあるものは何か、と言うことが問題です。

やっていることは、世の中が平和になると、アメリカには何が起るのか。これは、明らかに、アメリカの武器産業が衰退することです。中東の紛争地帯を沈静化すれば、兵器の需要が減るのは確か。ここから撤回し、また、もとの紛争状態にすれば、当事国には、武器が必要になります。サウジアラビアに攻撃用と防御用のミサイルを売り込み（まさしく、矛盾そのもの）、ロシアが自動小銃カラシニコフの工場を輸出したのと同じです。メキシコの国境に壁を作るということは、アメリカの建設業界にとっては、景気回復の絶好の話。建設業で働く人にとっては、クリスマスプレゼントのようなもの。銃を規制すれば、銃の需要が減少し、その製造会社は不振に陥ります。韓国・日本には、北朝鮮問題も含め、ミサイルの売り込み、戦闘機の売り込みをしてきました。アメリカ軍が自前で防御するよりも、こうすれば、アメリカ国内の武器産業は多いに活気づきます。

こうしてみると、トランプがやっていることは、一貫して、アメリカの武器産業を活性化し、失業率を下げようという訳です。彼は軍需産業の手先でもあり、武器商人なのです。ちなみに、アメリカの軍需産業には、沢山の人が働いています。かつて、アフガニスタンに介入した時に、アメリカの副大統領のチェイニーは、自分のトラック会社から大量のトラックを輸出して大儲けをしたと聞いています。調べてみると、今のアメリカの軍需産業で約 100 万人の人達がいろいろな形で、世界の戦争に支えられて、生活して居るのです。まさに、アメリカの労働事情は、軍需がとても重要なのです。ましてや、こうした産業には、外国からの労働者は雇用していませんので、この数は、トランプの次期選挙の時には、たいへんな一大勢力になる筈です。したたかさと図々しさを兼ね備



カラシニコフ

えたトランプは、武器産業を振興し、次期の大統領選の準備をしているのでしょう。こんな人が。ノーベル平和賞に値するのでしょうか？

そんなトランプにべったりの一国の首相が、分大統領ならまだしも、恥も外聞もない行動をとったことに、アメリカは日本をその程度の国と考えているのか、そう思うと情けなくもなるし、また、そんな首相が国を統治していることに、一国民として、恥ずかしくなります。